

令和3年度東京工業大学学校推薦型選抜及び総合型選抜の 選抜方法について

本学では多様な学生を迎えるため、各種入学者選抜を行っています。中でも、従前より実施してきた推薦入試やAO入試では、各学院が求める学生像に基づき、本人提出書類、調査書や面接等を通して、志願者の意欲や創造性などを判定してきました。令和3年度より実施する学校推薦型選抜及び総合型選抜においても、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）をより多面的・総合的に評価するためにこの方針を維持していきます。

各選抜方法は次のとおりです。

【学校推薦型選抜（理学院）】

従来通り、個別学力検査を免除し、大学入学共通テストの成績、推薦書、研究内容の要約並びに、調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し、合格者を決定します。

【総合型選抜（工、物質理工、情報理工、生命理工、環境・社会理工学院）】

従来通り、学力検査（大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査）、志望理由書、調査書及び各学院が指定する提出書類を総合的に評価し、合格者を決定します。特に、3要素の内、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するための資料としては、下記項目を中心に調査書を活用していきます。

○ 調査書評価項目について

評価項目	新調査書における記載該当欄
1.学習の姿勢等	7.指導上参考となる諸事項 (1)学習における特徴等 (2)行動の特徴、特技等
2.課外活動実績	7.指導上参考となる諸事項 (3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
3.特別活動実績	6.特別活動の記録
4.受賞歴や資格取得等	7.指導上参考となる諸事項 (4)取得資格、検定等 (5)表彰・顕彰等の記録
5.上記以外の活動実績	5.総合的な学習の時間の内容・評価 7.指導上参考となる諸事項 (6)その他 8.備考

調査書等の評価は、各学院とも、第2段階選抜の総合問題（100点）の内に含めるものとし
ます。

なお、上表で示した調査書の評価項目については、情報理工学院及び環境・社会理工学院C*が
別途提出を求めている活動実績報告書や英語外部スコア等と重複しても差し支えありません。

また、調査書の活用については、志願者の高等学校等における日常的な学習や一般的な課外活
動等を評価するものであり、高等学校等や受験生に対して特別な活躍や資格を提示すること、新
たな取り組みを強いるものではありません。また、各項目の評価は文章の表現や量に左右される
ものではありません。

* 総合型選抜の環境・社会理工学院は、A（建築学系）、B（土木・環境工学系）、C（融合理工
学系）の系単位での募集となります。

本予告は令和元年7月現在の予定であり、変更の可能性があります。
出願に当たっては、各年度の入学者選抜要項、募集要項を必ず確認してください。